

会 議 録

会議の名称		令和元年度第 1 回つくば市公共交通活性化協議会		
開催日時		令和元年 5 月 30 日 開会 10:00 閉会 12:00		
開催場所		つくば市役所コミュニティ棟 会議室 1～3		
事務局（担当課）		都市計画部総合交通政策課		
出席者	委員	石田委員、久保田委員（代理：酒井様）、佐藤委員、櫻井委員、中嶋委員、横地委員、池田委員、松橋委員、奈良委員、鬼沢委員、武藤委員、藤岡委員、松原委員、吉場委員、笹倉委員（代理：寺田様）、星野委員、二宮委員、鈴木委員、谷田部委員、大澤委員、川根委員、一色委員、飯田委員、小原委員、水野委員、上野委員、中根委員		
	その他	—		
	事務局	中澤次長、伊藤課長、細谷課長補佐、坂入係長、田村係長、倉持主任、藤井主事		
公開・非公開の別		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	2 名
非公開の場合はその理由				
議題		<ul style="list-style-type: none"> ・つくば市公共交通活性化協議会規約の一部改正について（案） ・平成 30 年度事業報告 ・平成 30 年度歳入歳出決算書 ・令和元年度事業計画（案） ・令和元年度歳入歳出予算書（案） ・まつりつくば 2019 におけるつくバス 1 日乗車券の割引について（案） ・支線型バスに係る乗継割引の適用追加について（案） 		

様式第1号

会議録署名人	—	確定年月日	平成 年 月 日	
会 議 次 第	1	開 会		
	2	委員紹介		
	3	役員選出		
	4	事務局紹介		
	5	議題		
		議案第1号 つくば市公共交通活性化協議会規約の一部改正について（案）		
		議案第2号 平成30年度事業報告		
		議案第3号 平成30年度歳入歳出決算書		
		議案第4号 令和元年度事業計画（案）		
		議案第5号 令和元年度歳入歳出予算書（案）		
	議案第6号 まつりつくば2019におけるつくバス1日乗車券の割引について（案）			
	議案第7号 支線型バスに係る乗継割引の適用追加について（案）			
	報告案件1 平成30年度つくバス・つくタク利用実績			
	報告案件2 平成31年4月公共交通改編 運行状況 ・つくバス ・つくタク ・路線バス実証実験 ・支線型バス実証実験			
	報告案件3 改編に関するご意見			
6	その他			
7	閉会			

様式第1号

<審議内容> ○：委員 ●：事務局

1 委員紹介

全委員、新たに委員委嘱を行った。

2 役員選出

委員間の互選により、以下のとおり役員が選出された。

- 会長：石田委員
- 副会長：久保田委員、横地委員
- 監事：奈良委員、吉場委員

協議会が有意義な場となるよう、幹事会を設置する。幹事については、会長が定めることとする。

3 協議案件1 つくば市公共交通活性化協議会規約の一部改正について

●事務局：資料1に基づいて、つくば市公共交通活性化協議会規約の一部改正案を説明

○委員：異議がないため、本議案について承認とする。

4 協議案件2 平成30年度事業報告

●事務局：資料2に基づいて、平成30年度事業を報告

○委員：異議がないため、本議案について承認とする。

5 協議案件3 平成30年度歳入歳出決算書

●事務局：資料3に基づいて、平成30年度歳入歳出決算書を報告

○委員：異議がないため、本議案について承認とする。

6 協議案件 4 令和元年度事業計画（案）

●事務局：資料 4 に基づいて、令和元年度事業計画（案）を報告

○委員：異議がないため、本議案について承認とする。幹事会の中で、新しいモビリティに関する審議も行う予定

7 協議案件 5 令和元年度歳入歳出予算書（案）

●事務局：資料 5 に基づいて、令和元年度歳入歳出予算書（案）を報告

○委員：異議がないため、本議案について承認とする。

8 協議案件 6 まつりつくば 2019 におけるつくバス 1 日乗車券の割引について（案）

●事務局：資料 6 に基づいて、8 月 24 日、25 日におけるつくバス 1 日乗車券の割引案を説明

○委員：異議がないため、本議案について承認とする。

9 協議案件 7 支線型バスに係る乗継割引の適用追加について（案）

●事務局：資料 7 に基づいて、支線型バスに係る乗継割引案を説明

○委員：つくバス等から支線型バスに乗り継いだ際の割引制度がないのは、運賃が割引後運賃と同額(200 円)のためか。

●事務局：はい。支線型バスは料金が 200 円のため、運賃割引の適用からはずしている。

○委員：MaaS(Mobility as a Service：複数の交通手段を 1 つの移動サービスとして統合すること)実現では、乗り継ぎが最大の課題である。この乗継割引により、乗り継ぎの抵抗感を下げられると思

う。MaaS 促進に向けて、これ以外にもダイヤ見直しや自動運転の導入等を試みていけたらと思っている。

異議がないため、本議案について承認とする。

10 報告案件1 平成30年度つくバス・つくタク利用実績

●事務局：資料8に基づいて、平成30年度つくバス・つくタク利用実績を報告

○委員：循環型に近いシャトル（小田、谷田部、自由ヶ丘）は、利用者が少ない。一方で、乗り切れない状況のシャトルも存在している。運転士不足の中、効率的な運行を行ってほしい。

○委員：小田シャトルは、平成30年10月に減便した影響もあり、利用者が減少している。今後どうしていくか検討してほしい。

○委員：谷田部シャトルで、1日当たり利用者が減少し、1便当たり利用者が上昇したのは、減便になった影響ということか。

●事務局：はい。減便したことで、利用者が凝縮したと考えている。

○委員：自由ヶ丘シャトルの「富士見台」バス停の利用者が減った理由は何か。

●事務局：平成30年度は、自由ヶ丘シャトルのルートもダイヤも変更していない。利用者が減った理由は定かではない。

○委員：バスが遅延し、他シャトルに乗り継げなかった事例がある。バスが遅延した際には、接続バスも時間調整してほしい。

○委員：遅延情報の共有、何分までなら待つか等も含めて検討が必要と思わ

れる。運行データを活用し、実際の状況を把握した上で、バス接続について考えてもらいたい。

○委員：車両稼働率とは何か。

●事務局：つくタク車両 20 台のうち、実際に稼働した車両の割合である。

11 報告案件 2 平成 31 年 4 月公共交通改編 運行状況

●事務局：資料 9 に基づいて、平成 31 年 4 月運行状況を報告

○委員：より多くの方に利用してもらおうというコンセプトで改編したが、利用状況が悪い。定時性はどうなっているのか。また、朝の北部シャトルで乗り切れない状況はあるのか。

●事務局：北部シャトルで乗り切れなかったという報告は届いていない。

●事務局：改編に際し、朝夕の交通渋滞に鑑み、ダイヤを再編した。それにより、朝夕の定時性は改善した。北部シャトルの上りは、1 便増便し、同時刻に 2 台運行するようになったことで、積み残しはなくなっている。

○委員：利用状況を注視し、利用されていない停留所を撤去することも含めて、機敏に対応してほしい。

○委員：吉沼シャトルで研究学園駅に向かう際、TX への接続が悪い。また、時間調整のため途中駅で待たされることが多くなった。ダイヤを見直してほしい。

●事務局：午前の上り便、午後の下り便を対象に、TX に接続できるダイヤを組んでいる。ダイヤを精査し、必要であれば、TX ダイヤ改正（令和 2 年 3 月）のタイミング等につくバスダイヤを改正する。

様式第1号

○委員：車両にGPSを搭載して調査する等、データを活用して検討してもらいたい。

○委員：吉沼駐在所はもうなくなったので、吉沼シャトル「吉沼駐在所」のバス停名は変更した方がよい。

○委員：つくバス結節点が吉沼交流センターではなくて、とよさと病院になったのはなぜか。

●事務局：吉沼交流センター付近は道が細く、中型車両が入れない。そのため、とよさと病院を結節点とした。

○委員：支線型バスや西部シャトルは、つくタクに比べての強みがPRされていないように感じる。

○委員：特例ポイント追加により、桜地区からイオンモールつくばに行けるようになったと喜びの声があった。

12 報告案件3 改編に関するご意見

●事務局：資料10に基づいて、改編に関するご意見を報告

13 その他

●事務局：持続可能な開発目標（SDGs）の考え方を取り入れ、持続可能都市ビジョンを公表した。これを市民にわかりやすく伝えるため、「やさしさのものさし」をキーワードにデザインを行った。今後、つくバスや支線型バスの車両デザインに順次採用していく。次回活性化協議会は9月頃を予定している。

様式第 1 号

以上